

この決定は慎重に検討を重ねた上でのものであり、日頃より寺院を支えてくださっている皆さまへの深い感謝の思いとともにお伝えするものです。皆さま一人ひとりのご支援が、寺院の運営を支え、地域において仏法を伝え続ける力となっています。

申込については英語版のニュースレターの申込書にご記入のうえ、寺務所までご提出ください。名誉会員の方につきましても、記録を最新の状態に保つため、毎年申込書のご提出をお願いいたします。名誉会員には会費は不要ですが、ご無理のない範囲でのご寄付をいただけましたら幸いです。

祥月法要のお知らせ

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

日時… 一月 四日(日)

二月 一日(日)

(日本語…午前十時四十五分から)

(英語…午前十一時から)



※英語法要のみオンライン配信

オンラインでの参拝を希望される方は、その旨を寺院事務所までお知らせください。Zoomのリンクを送らせていただきます。

どうぞ故人が祥月でない方もご参拝下さい。

※四月より日本語の時間を変更しました。

法要後には地下のソーシャルホールにてお茶を飲みながら参加者同士の交流を楽しんでいただければと思います。

報恩講イブのお知らせ

報恩講法要の前日夜には報恩講イブとして地下ホールでベジタリアンポットラック、引き続き本堂にて法要を行います。皆さんで楽しい時間を過ごしましょう。

日時… 一月十七日(土) (午後五時から)

報恩講法要のお知らせ

報恩講は、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のご命日、(新暦で一月十六日)をご縁に執り行われる法要でして、私たち念仏者にとつて、み教えをお示しくくださった親鸞聖人に感謝し、阿弥陀さまのお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

日時… 一月 十八日(日)

(日英両言語…午前十一時から)

年次総会のお知らせ

理事会より、二〇二六年一月二十五日(日)

午後一時から年次総会を対面にて開催することをお知らせいたします。会員の皆さまには、ぜひご出席いただき、総会にて提起される議題についてご発言・ご投票くださいますよう、心よ

りご案内申し上げます。

なお、総会の傍聴はどなたでも可能ですが、発言および投票の権利は、寺院の会員に限られますので、あらかじめご了承ください。出席をご予定の会員の方は、事前に寺務所までご登録をお願いいたします。

ご都合により総会へご出席いただけない場合は、**委任状 (Proxy)** を提出し、代理人に投票を委ねることができます。英語版ニュースレターにある委任状用紙にご記入のうえ、ダーリン・リガー氏、またはご自身が指定する寺院会員一名を代理人としてご指名ください。

枕経のお知らせ

ご家族の枕経を検討されている場合は、当寺院の寺務所へご連絡いただくようお願いしております。

ご希望の時間を調整し、ご一緒に臨終の仏徳讃嘆のお勤め、もしくは、故人を偲びながら、ご家族の皆さんとお勤めをさせていただきます。当寺院に事前にご連絡いただくことにより、ご家族の質問への対応や必要な情報を提供することが可能となります。

枕経についての連絡、質問については、留守の場合はメッセージを残していただき、担当者が折り返し対応させていただきます。

トロント本願寺 理事会

共同会長より二〇二五年 報告



二〇二五年は、
トロント本願寺に
とって非常に多忙
でありながら、実
りの多い一年とな
りました。本年は

複数の助成金を受領し、施設の改善およびコ
ミュニティ・プログラムの拡充を進めることが
できました。

日本カナダ・レガシー・フアンドからの助成
金により、以下の三つの主要な施設改善事業を
実施しました。

- ・屋上ソーラーパネルの設置
- ・寺院全館の床材の更新
- ・寺院屋根の修復工事

また、同助成金を活用し、社会的孤立の軽減
を目的とした「ダーナ・プロジェクト」を実施
しました。本事業では、訪問による交流や日本
食弁当の配達を通じて、地域の方々とのつな
りを深めました。あわせて、介護者を対象とし
たサポート・ワークショップを開催し、ストレ
スマネジメント、セルフケア、認知症や慢性疾
患への対応に関する情報提供を行いました。

さらに、オンタリオ州ヘイトクライム防止セ
キュリティ助成金の支援を受け、寺院入口にガ
ラス製スライドドアを新設しました。これによ
り、安全性およびアクセシビリティの向上を図

ることができました。

これらの取り組みは、多くの関係者のご協力と
支援によって実現したものです。今後も、地域
社会に開かれた寺院として、必要とされる活動
を継続してまいります。

マイケル・タマキ



二〇二五年四月、トロント本願寺にとって最
も大きな出来事は、杉浦
輝先生のお迎えでした。杉
浦先生をお迎えしたこと
で、橋本先生が単独で寺
務全般を担う体制が解消
され、運営面において大
きな前進となりました。

また、ジェフ・ウィル
ソン先生と連携しながら行っているハミルトン
仏教会へのサポートや、モントリオール仏教会
との調整も、より円滑に進められるようになって
います。

さらに、本年のお盆法要にてゲスト法話を
担当くださった金谷パティ先生が、現在オタワ
仏教コミュニティを担当されていることも、大
変喜ばしいニュースでした。加えて、橋本先生
は仏教および浄土真宗に関する二つの講座を開
講し、いずれも好評を博し、当寺コミュニティ
における教えへの理解を深める機会となりました。

特筆すべき点として、キッズ・サンガおよび
日曜学校の毎週開催が再開され、寺院全体に新

たな活気と喜びが戻ってきたことが挙げられ
ます。

これらの前向きな変化の多くは、杉浦先生
の着任によって実現したものです。ここに、
橋本顕正先生、杉浦輝先生、ジェフ・ウィ
ルソン先生、金谷パティ先生、そしてデニ
ス・マドコロ氏の日頃のご尽力に、心より感
謝申し上げます。あわせて、カナダ開教区に
おける僧侶および僧侶候補者の確保に尽力さ
れている青木総長のご努力に、深く御礼申し
上げます。

スーザン・エビスザキ

二〇二六年 寺院会費について

二〇二六年を迎えるにあたり、寺院会員の
皆さまへ大切なお知らせを申し上げます。

参加者数やフアンドレイジングは少しずつ
回復してきているものの、残念ながら本年も
ご寄付および会費収入は目標に届きません
でした。また本年度はカナダ開教区からの年次
分担金も、同様に諸経費の高騰を受け、例年
より大きく引き上げられました。

これらの状況を踏まえ、誠に心苦しい限り
ではありますが、以下の通り会費を改定させ
ていただくこととなりました。

- ・寺院会費 百八十ドル
- ・ニュースレターのみ購読料 七十ドル

【次ページへ続く】

新年のご挨拶 (橋本・杉浦)

新年あけましておめでとうございます。



旧年中は、トロント本願寺の歩みに多大なるご支援とお力添えを賜り、誠にありがとうございました。

この一年、当寺で勤める中で、私自身、あらためて強く感じていることがあります。それは、このお寺の歩みは、決して一人の力によるものではなく、多くの方々の支えとご縁によって成り立っているということです。日々お寺に足を運んでくださる門信徒の皆様はもちろん、表に見えるところ、見えないうところで支えてくださっているすべての方々に、心より感謝申し上げます。

法要や行事、そして何気ない日常の中で、私たちはともに念仏の教えを聞くご縁をいただけてきました。

しかし、私たちの人生は、いつも思い通りに進むわけではありません。立ち止まり、悩み、どうすることもできずに動けなくなることもあります。けれども、そのような現実のただ中にこそ、すでに阿弥陀仏のはたらきは、私たち一人ひとりに届いていると、浄土真宗は教えてくれます。

浄土真宗の教えは、「もっと良い人になりなさい」「もっと強くなりなさい」と求める教えではありません。

そうではなく、何もできないこの私、そのままの私に向けられた教えであります。

トロント本願寺は、世代や文化、言葉を超えて、念仏の声が聞こえる場として歩みを続けてきました。私自身も、答えを与える者としてではなく、ともに立ち止まり、ともに聞く伴走者として、一人ひとりと歩んでいきたいと願っております。

本年もまた、教えを聞くというかけがえのないご縁を大切にしながら、皆さまとともに歩んでまいりたいと思います。

南無阿弥陀仏

トロント本願寺 駐在開教使 橋本顕正



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、皆さまより温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

昨年、私はカナダに渡り、トロント本願寺にて新たな歩みを始めました。日々、慣れないことの連続ではありますが、皆さまからの優しいお声がけやお心遣いに支えられ、一步一步、歩みを進めることができました。

雪深いカナダの冬の中でも、皆さまの温もりに、心が和らぐ思いがいたしました。

昨年、私には二つの目標がありました。一つは、英語でのコミュニケーション力を向

上させること。

もう一つは、私の名前を覚えていただくことです。

結果として、英語力以上に早く上達したのは、うなずく力と笑顔だったように思います。そして、名前の発音については、今なお課題が残っております。

冗談はさておき、この一年を振り返る中で、私一人で歩んでいるのではなく、常に支えられ、導かれているということを、あらためて深く感じております。

本年もまた、一つ一つのご縁を大切にしながら、精一杯勤めてまいりたいと存じます。

変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。 合掌

トロント本願寺 開教使補 杉浦輝

ボランティアの皆様へ

寺院内外に問わず、トロント本願寺の護持発展に対して、ご尽力くださるすべての方々に感謝を申し上げます。



モミジでの定例法要

(第2木曜日10時半～)

※昨年より午前中に変更

佛心

二〇二六年一月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

て心に刻み、これからも歩んでいく決意を新たにいたしました。

戦後の教団の歩みは、戦争に積極的

二〇二六年 年頭の辞

新しい年を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

まず、近年、日本をはじめ世界各地で台風や豪雨、地震などの自然災害や大規模な山火事などが頻繁に発生し、甚大な被害がもたらされています。犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心から御見舞い申し上げます。皆さまが一日も早く、平穏な日常を取り戻されますことを心から願っております。

さて、昨年は第二次世界大戦の終戦から八十年という節目の年でした。私は七月に、この戦争で筆舌に尽くしがたい惨禍がもたらされた沖縄・広島・長崎の追悼法要のご縁をいただき、戦争体験者の方々のお話を聞かせていただく機会を得ました。そして、平成七年・一九九五年の「終戦五十周年全戦没者追悼法要」における、「宗祖の教えに背き、仏法の名において戦争に積極的に協力していった過去の事実を、仏祖の御前に慚愧せずにはおれません」との教団の戦争責任にかかる即如門主のお言葉を改め

協力・加担した事実から目をそらさず、その反省を踏まえ、誰もが心豊かに生きられる平和な社会の実現を目指すことから始めました。私たちは、その事実と真摯に向き合い、決して同じ過ちを繰り返してはなりません。現在も世界各地で戦争や紛争は続いており、多くの尊い命が脅かされています。そのような中であって、宗祖親鸞聖人の「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」との願いを常に心に留めて、日々の歩みを進めてまいりましょう。

浄土真宗本願寺派

門主 大谷光淳

カナダ開教区総長よりご挨拶

旧年中は大変お世話になりました。カナダ開教区を代表して、謹んで御礼と新春のお慶び申し上げます。

今年も阿弥陀如来のお慈悲を感じ、お智慧に照らされ、みなさまと一緒に仏道を歩ませていただきます。今年も開教使の先生と仏教会のサポートをよろしくお願い申し上げます。

合掌 青木龍也

カナダ開教区 開教使の先生

あけまして
おめでとう!



今年もよろしく
お願いします



JSBTC AGM in Toronto—April 2025